

事例発表レジュメ

内 容 ・ テ ー マ	プログラム編成の視点
実 践 事 例 名	広島版「学びから始まる地域づくりプロジェクト (略称：ひろプロ)
事業主体（実施機関）	広島県立生涯学習センター
連携・協力機関等	県内各市町関係課，公民館等社会教育施設ほか
発 表 者	広島県立生涯学習センター 振興課長 松田 愛子

期日 令和3年2月5日

1 はじめに

広島県立生涯学習センターの事業の概要

2 広島版「学びから始まる地域づくりプロジェクト」

- (1) 事業の概要 —こんなプロジェクトです—
- (2) 「ひろプロ」コーディネーター研修
- (3) 企画・実践のポイント
- (4) 開発モデルの試案
- (5) 見えてきた成果と課題
- (6) モデル市町の実践

3 おわりに

「学んだ人」や「学んだこと」が好循環する仕組み作り

【参考文献】

**広島版「学びから始まる地域づくりプロジェクト」
コーディネーターハンドブック**

※可能な方は，次の URL からデータをダウンロードして当日の資料として，
御準備ください（冊子体）。

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/center/hiropuro.html>

【検索】ぱれっとひろしま → 広島版「学びから始まる地域づくりプロジェクト」

又は 広島県立生涯学習センターの HP から「ひろプロ」ボタン→をクリック



プログラム編成の視点 <事例研究>

広島版

学びから始まる 地域づくりプロジェクト



ぱれっとひろしま

広島県立生涯学習センター

振興課長 松田 愛子

本日の発表内容

1 はじめに

広島県立生涯学習センターの事業の概要

2 広島版「学びから始まる地域づくりプロジェクト」

- (1) 事業の概要 —こんなプロジェクトです—
- (2) 「ひろプロ」コーディネーター研修
- (3) 企画・実践のポイント
- (4) 開発モデルの試案
- (5) 見えてきた成果と課題
- (6) モデル市町の実践

3 おわりに

「学んだ人」や「学んだこと」が
好循環する仕組み作り

広島県立生涯学習センターの概要

広島市中区千田町（県情報プラザ） H21～

移転前



執務室



広島県立生涯学習センターの5つの機能

調査研究

情報提供

指導者研修

モデル事業

市町・関係機関・団体等との
連携・協働

令和2年度 広島県立生涯学習センター研修体系

住民の学習活動の支援者として必要な知識・技能の習得と情報交換の場を提供します。

■生涯学習センターの機能



市町職員等研修

生涯学習振興・社会教育関係職員等研修

基礎研修 [全1回]	講義 生涯学習の基本事項, 国・県の動向 演習 生涯学習・社会教育関係職員の役割 実践交流 現場からの報告~やりがいと楽しさ~	オンライン研修 6/26
学習プログラム研修 [全2回]	講義 学習プログラム開発の理論と手法 演習 学習プログラム開発の実際, 相互評価・総評	オンライン研修 ① 8/21 ② 8/28
広島版「学びから始まる地域づくりプロジェクト」(略称:ひろプロ) [全2回] コーディネーター研修	講義 学びから始まる地域づくり 説明 広島版「学びから始まる地域づくりプロジェクト」の概要, 企画シートの作成 演習 企画シートの相互評価・講評 等	オンライン研修 ① 9/14 ② 9/25
社会教育主事等研修	講義・演習 ①<生涯学習経営編> 講義・演習 ②<社会教育支援編>	オンライン研修 ① 10/2 ② 10/9
地域課題対応研修支援 (訪問型研修)	センターの社会教育主事が訪問し, 多様化する地域課題に対応した市町の研修(人材育成)を総合的に支援。(広島版「学びから始まる地域づくりプロジェクト」のモデル実践を含む)	
公民館等職員研修会 [全2回] (広島県公民館連合会との共催)	講演・ワークショップ・意見交流・体験講座 ①Withコロナ社会における公民館等の運営 ②Zoomに挑戦! -オンライン講座の開設に向けて-	オンライン研修 ① 11/26 ② 11/27
社会教育委員研修会 (広島県社会教育委員連絡協議会との共催)	講演・トークセッション 社会教育の動向, 社会教育委員の役割等	中止

指導者研修の基本的方向性

実践重視

「学んだことを生かす」力が身に付くよう, 実践を重視。

参加型

自ら主体的に考え, 他者と協働しながら学ぶことで, 新たな気づきや価値を創造。

交流の場

「互いの実践から学ぶ」ことや「経験を伝える」ことで, 参加者同士の学び合い・交流を促進。

コーディネーター力向上

市町で中心的な役割を果たす「社会教育主事」や中堅・ベテラン職員の指導力・コーディネーター力を向上。

評価・改善

「学習成果」の評価を基本とした研修事業の評価・改善システムの構築。

コーディネーター等研修

ボランティア・ポランティア

養成

ネットワーク

家庭・地域の教育力向上につながる知識・技能の習得と情報交換の場を提供します。

地域学校協働活動推進事業 地域と学校の連携・協働体制構築研修会 (兼) 地域学校協働活動推進員等研修会	講義 地域学校協働活動の意義等 事例発表, 講評, 意見・情報交換等	オンライン研修 2/3
地域学校協働活動推進事業 協働活動支援員・協働活動サポーター等研修会	講義・演習 子供との接し方 実技 危機管理, 応急手当・救命処置等	中止
「『親の力』をまなびあう学習プログラム」 ファシリテーターステップアップ研修	講義・演習 家庭教育支援の在り方, 教材研究等 意見交換等 コロナ禍での「親プロ」講座等	オンライン研修 ① 9/29 ② 1/19 ③ 2/24
社会教育主事講習 [B] インターネットを活用したライブ配信により, 国立教育政策研究所社会教育実践研究センター主催の地方会場として開催	講義 生涯学習概論, 社会教育経営論, 生涯学習支援論 演習 社会教育演習 ※分割履修可能 (ただし, 規定改正によりこれまでの単位が既修得単位とみなされない科目があります。)	【県内1会場・全20日】 1/21~2/18 (県立生涯学習センター)

「学んだ人」や「学んだこと」が好循環する仕組み作り

連携・協働のプラットフォームとして, 県と市町, それぞれが担う研修で「学んだ人」や「学んだこと」が好循環する仕組み作りを目指します。

連携・協働のプラットフォームとして, 広範なネットワークづくりを推進します。

広島県生涯学習研究実践交流会 (日本生涯教育学会との共催)	基調講演 ポストコロナ時代の学び・つながり トークセッション, グループセッション	ハイブリッド開催 3/6 (対面・オンライン)
---	--	-----------------------------------

指導者研修の基本的方向性

実践重視 「学んだことを生かす」力が身に付くよう、
実践を重視

参加型 自ら主体的に考え、他者と協働しながら学ぶ
ことで、新たな気づきや価値を創造

交流の場 「互いの実践から学ぶ」ことや「経験を
伝える」ことで、参加者同士の学び合い・交流を促進

コーディネータ力向上 市町で中心的な役割を果たす「社会教育主事」や中堅・ベテラン職員の指導力・
コーディネータ力を向上

評価・改善 「学習成果」の評価を基本とした研修
事業の評価・改善システムの構築

【生涯学習振興・社会教育関係職員等研修】

▶ 基礎研修



生涯学習・社会教育の基礎的な知識の習得

生涯学習・社会教育の基本事項，関係法令，国・県の動向，現場からの報告（やりがいと楽しさ），関係職員の役割等

こんな方におすすめ！

初めて社会教育行政等を担当する方，もう一度基本から学びたい方

事業や講座を企画する時には，必要課題と要求課題のバランスや期待される効果を意識することが大切であることが分かりました。



▶ 学習プログラム研修



学習プログラムの企画・立案・評価能力の向上

地域課題の把握・分析，学習プログラム開発の基礎（企画立案，評価，改善）等

こんな方におすすめ！

事業・講座の企画運営を行っている公民館等職員，地域づくりに関する講座の企画運営を行う職員等

プログラムを作成するだけでなく，評価まで考えて取り組むと計画的に実践しやすく，その地域の課題や改善点が見えてくると思いました。



【生涯学習振興・社会教育関係職員等研修】

▶ 広島版「学びから始まる地域づくりプロジェクト」 コーディネーター研修

新規事業

学びを通じた地域づくりのためのコーディネート力の向上

講義「学びから始まる地域づくり」、説明「広島版『学びから始まる地域づくりプロジェクト』の概要」、「ひろプロ」企画シートの作成等

こんな方におすすめ！

事業・講座の企画運営を行っている公民館等職員，地域づくりに関する講座の企画運営を行う職員，社会教育主事（同有資格者）等 ※「学習プログラム研修」（または同等の研修）を受講済の方

▶ 社会教育 主事等研修

専門的教育職員としての知識・技能の向上

- 社会教育経営編（社会教育行政の経営戦略 ほか）
- 生涯学習支援編（参加型学習の実際とファシリテーション ほか）

こんな方におすすめ！

社会教育主事，同有資格者，社会教育行政等の中核となる職員等



行政の中に横串を刺すことが必要だと感じていましたが、「なぜ必要か」を説明するためのヒントを得ることができました。



▶ 地域課題対応研修支援（訪問型研修）

複雑・多様化する社会や地域の課題に対応した事業の充実に
向けて、**市町の社会教育主事，研修担当職員等と連携・協働**
し、**市町が実施する研修(人材育成)の企画・運営を総合的に**
支援

STEP1 相談受付

「相談シート」を提出

STEP2 研修企画支援

相談内容をヒアリングし，地
域課題に対応した研修の企画
に関するアドバイスや情報提
供を行います

STEP3 当日運営支援

必要に応じて，センターの社
会教育主事が訪問し，研修当
日の講師・コーディネーター
を務めます

STEP4 アフターフォロー

次回以降の改善・発展，
主体的な研修実施に向
けて，支援を継続しま
す



「学び」が無けれ
ば地域が続かないこ
とを再確認できまし
た！

東広島市 社会教育関係職員研修会【スキルアップ研修】
学びから始まる地域づくり



社会教育委員と
しての自覚や地
域との関わり方
を学びました！

北広島町社会教育委員・関係職員合同研修会
地域づくりに果たす公民館等の役割



家庭教育支援の役
割や「親プロ」の
意義について再認識
できてよかったです。

府中町家庭教育支援チーム
「くすのき」ステップアップ研修
「家庭教育支援チーム」の役割

▶ 広島県生涯学習研究実践交流会

連携・協働のプラットフォームとして、
広範なネットワークづくりを推進

- **日本生涯教育学会と共催**
- 平成24年度～
職員研修の研究成果や、当センターの調査研究の成果発表の場
として事業開始
- 平成26年度～ 基調講演・分科会（事例発表）



全体会



分科会（事例発表等）



分科会（グループ討議）

これまでの研修事業の成果と課題

【成果】

- 「受講者数（定員充足率）」, 「研修の役立ち感」, 「研修成果の活用」等の割合は, 例年高い水準を維持。
- オリジナルの「研修コンテンツ」開発が進み, 幅広く活用。
- 各事業に対し, 市町職員等から一定の評価を得ており, 県センターが**市町から頼りにされる存在に**。
- 県内の公民館等で**多様な実践が展開**。

広島市古田公民館
「このまちに暮らしたいプロジェクト」



大竹市立玖波公民館
「地域ジン 学びのカフェ」

【課題】

- **生涯学習・社会教育推進体制の変化**
 - ・ 社会教育主事発令者の減少（10/23市町）（R2.4現在）
 - ・ 公民館の首長部局への移管・コミュニティーセンター化（7/23市町）（R2.4現在）
 - ・ 公民館等職員の減少・非常勤化, 指定管理の増加
- **学びの成果を地域づくりの実践につなげる**
具体的な仕掛けやノウハウの蓄積不足



広島版 学びから始まる 地域づくりプロジェクト

—こんなプロジェクトです—

広島版「学びから始まる地域づくりプロジェクト」(略称：ひろプロ) 支援事業

地域住民にとって最も身近な学習・交流の活動拠点である「公民館」(*)が、多様な主体と連携・協働して地域課題に対応した学習機会を提供し、学びを通じた地域づくりの活動を促進するための拠点として重要な役割を果たせるよう支援する。

*「公民館」は、「コミュニティセンター」等の公民館類似施設を含む。

趣旨

現状と課題

- 「高齢者の趣味・教養のたまり場」というイメージが定着し、利用が活性化していない。(利用者の減少・固定化)
- 多様な取組が行われているが、学びの成果を地域課題解決につなげる具体的な仕掛けやノウハウの蓄積がない。

▶ 市町の取組格差あり

目指す姿

- 地域の多様な世代の人々(機関・団体等を含む。)が「公民館」に集い、豊かなつながりや学び合いが生まれている。
- 「公民館」がコーディネート機能を発揮し、住民の主体的・協働的な学びを通じた地域づくり活動を推進する地域ネットワークの中核拠点となっている。

▶ 市町の現状・課題に応じた県の支援

新たな取組の概要

● 住民の主体的・協働的な学びを通じた地域づくりの推進に向けた事業モデルを実証開発。

「ひろプロ」のコンセプト

- ① 広島モデルを実証開発
- ② 実践の拠点は「公民館」
- ③ アレンジ自由・成長性・発展性
- ④ 体験型・参加型・参画型
- ⑤ 連携・協働・共創

● 地域の実情・課題に応じたプロジェクトをコーディネートできる人材(公民館職員等)を育成。

● 地域資源(社会資源)である「公民館」を活用し、多様な主体(行政(首長部局)や大学・企業・NPO、地域の関係機関・団体等)と連携・協働しながら、地域住民が主体的に参画できる社会教育・生涯学習のプロジェクトとする。

● 県及び市町の「社会教育主事」がその役割を発揮し、専門性(有用性)を生かす仕組みを取り入れる。

▶ 市町では対応困難な県域でのモデル的取組

具体的なイメージ

■ 「ひろプロ」の実証開発

◆ 地域の未来像を共有するための学びの場づくり

地域づくりワークショップ、まちづくり学校、まちづくりカフェ、地域のお宝発見、公民館エリア探検、ふるさとの未来・再考!フォーラム、これからの〇〇地区を考える会、未来づくりトークセッション...

◆ 地域の人材による家庭教育支援

子育てサロン・おしゃべりカフェ(地域の居場所づくり)、子育て講座(「『親の力』をまなびあう学習プログラム講座」等)、家庭教育支援チームの組織化、子育てサポーター・ファシリテーター等の地域の人材育成、子育てに役立つ情報の提供・啓発...

◆ 地域の人材による地域学校協働活動の推進

公民館等を拠点とした体制整備・仕組みづくり、学校支援活動(学習支援、学校環境整備、登下校の見守り等)、放課後子供教室、地域未来塾、地域の人材発掘・育成(研修、人材バンク)、地域住民の理解促進・ビジョン共有...

◆ 地域の人材による社会的包摂の実現

地域子供食堂、〇〇公民館カレーの日、ユニバーサルカフェ、できること持ち寄りワークショップ、地域支えあいプロジェクト、セーフティネット学習会、地域支え合いマップづくり...

◆ 地域防災・減災の仕組みづくり

関係組織のネットワーク化、避難所運営の仕組みづくり、防災ワークショップ、防災キャンプ、防災フェスタ、防災運動会、子供防災士養成講座、避難所開設訓練、防災「ひろしまプログラム」、「みんなで減災」一斉地震防災訓練、ハザードマップ作成...

◆ その他(地域資源を活用した地域課題解決・地域の人材育成)

若者やシニア世代の地域参画、地域行事活性化・地域の担い手育成、高齢者の健康・生きがいづくり、介護、多世代交流、グローバルリーダー育成、伝統文化継承、ふるさと教育、空き家対策、婚活支援、地域ブランド・特産品開発、コミュニティビジネス...

■ 学びを通じた地域づくりに関するコーディネートの向上

(「ひろプロ」コーディネーター研修、モデル実践の支援)

- 「ひろプロ」の企画・調整・運営を務める職員対象の研修を実施
- 既存の「地域課題対応研修支援(訪問型研修)」の枠組を活用(拡充)し、市町の現状・課題に応じて、モデル実践を支援
- 「『ひろプロ』コーディネーターハンドブック」開発(調査研究)

■ 参加促進・成果発信・「公民館」のイメージ向上

- 事業成果発信による、新たな参加者層の巻き込み
- アイコン・イメージキャラクター等開発



「ひろプロ」マーク

現行の取組

公民館等活性化モデル事業 (H26~)

子供を含めた地域住民が公民館等に愛着と理解が持てるような活動に対して助成(企画の支援) 【主催：県公民館連合会】
→ 認知度向上・活用促進・情報充実

訪問型研修 (H28~)

各市町の課題に応じた研修の実施について、県の社会教育主事が訪問して支援
→ 研修が必要な市町への働きかけ

公民館等取組事例集 (H28~)

公民館等の取組事例を収集し、HPで情報提供
→ 新たな好事例の開発・支援

コンセプト

① 広島モデルを実証開発

- ▶ 今、広島県の「公民館」がおもしろい！

② 実践の拠点は「公民館」

- ▶ “公民館”も“コミセン”も～

③ アレンジ自由・成長性・発展性

- ▶ 地域オリジナルの未来を描く～

④ 体験型・参加型・参画型

- ▶ 住民の主体性や当事者性を育む

⑤ 連携・協働・共創

- ▶ プラットフォームとして機能する場づくり

事業イメージ

社会課題 地域課題

少子高齢化・人口減少
(人生100年時代)
地域の担い手不足
防災減災
環境・福祉
産業・雇用
家庭教育支援
学校支援
貧困・教育格差
伝統文化継承
グローバル化…

地域住民



大学・学校

地域住民



民間企業

課題解決

地域づくり
コミュニティ
の活性化

- 地域の課題や将来像を共有
- 地域課題解決学習で住民をエンパワメント

- 学びの成果を地域課題解決へ
- 住民主体の協働のまちづくり

集う

学ぶ

結ぶ

生涯学習・社会教育関係職員

NPO・
地域団体

首長部局等

地域住民

市町
職員
社会
教育主事

「公民館」
職員

県
センター
社会
教育主事

地域住民

「ひろプロ」コーディネーター

地域資源（社会資源）の活用
(公民館, コミュニティセンター等)

地方創生

地域づくりのための
新しいプラットフォームとし
ての
「公民館」へ発展



※「公民館」は、「コミュニティセンター」等の類似施設を含む。

学びを通じた地域づくりを支援する コーディネート力の向上



「ひろプロ」コーディネーターハンドブック



「ひろプロ」コーディネーター研修



(イメージ)

モデル市町の実践支援
東広島市・世羅町 (R1・2)
竹原市・北広島町 (R2・3)

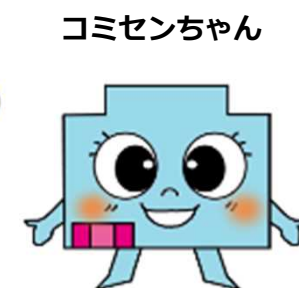
「ひろプロ」モデルの実証開発



「ひろプロ」マーク



コウミンカンくん



コミセンちゃん

「ひろプロ」
イメージキャラクター

ぱれっとひろしま [検索](#)

公民館等職員のコーディネート力の向上

【向上させたい能力】

- **地域の課題や将来像を共有し、地域住民が当事者意識をもって協働して地域課題解決学習に取り組むことができるよう、学びと活動が好循環する施策・事業を企画・実践する。**
- **人づくり・つながりづくりを通じた地域づくりの基盤を、他部局や多様な主体と連携・協働しながらともに構築する。**
- **地域内外の多世代・多目的・多様なたくさんの人や組織が乗り入れ、オープンでフラットなプラットフォームとして機能する場を提供する。**

研修プログラム

時間	内容	講師等
10:00～ 10:30	オリエンテーション ぱれっとカフェ(アイスブレイク)	
10:30～ 12:00	【講義】 学びから始まる地域づくり	広島県立生涯学習センター 生涯学習推進マネージャー 広島修道大学 教授 山川 肖美
	昼休憩	
13:00～ 13:30	【説明】 広島版「学びから始まる地域づくりプロジェクト」の概要	広島県立生涯学習センター 社会教育主事
13:30～ 16:25	【演習】 「ひろプロ」企画シートを 作成してみよう！	【講評】 広島県立生涯学習センター 生涯学習推進マネージャー 広島修道大学 教授 山川 肖美
16:25～ 16:30	アンケート記入・事務連絡	

研修の様子

①オリエンテーション・ぱれっとカフェ（アイスブレイク）



②基調講義



③事業説明



④グループ演習（企画シート作成，相互評価，発表）



企画・実践のポイント

- ① 住民の歩みに伴走する
- ② 客観的に地域を知る
- ③ 地域の過去と現在と未来をつなげ、企画する
- ④ プロジェクトを組み立て、実行に向けて調整する
- ⑤ 円滑なコミュニケーションをとる
- ⑥ 地域づくりの基盤となるネットワークを育む
- ⑦ ビジョンを持つ、共有する、更新する
- ⑧ プラットフォームとしての「公民館」をデザインする

2 地域を知ろう (分析シートの作成)

「分析シート」は、様々なプロジェクトを構想するための「地域カルテ」のようなもの。

【分析シート】		(所属)	(名前)		
選択テーマ		③地域の人材による地域学校協働活動の推進			
地域 (市・町 地区) の概要や関係施策・事業の現状と課題分析 【記入例】					
① 地域の現状・課題 (今の地域)	地域課題解決の方向性 (こんな地域にしたい)	② 既存(現在・過去)の施策・事業		③ 地域の資源 (ヒト, モノ, コト, カネ...)	施策・事業の改善や 新たな取組の方向 (可能性)
		地域課題に関連する 公民館等の施策・事業 (取組名, 内容, 成果・課題)	関連行政・学校・ 民間・団体等の施策・事業 (取組名, 内容, 連携の有無)		
<p>○少子化・核家族化の進展</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人口総数 ▲▲▲人 ・年少人口(割合) ▲▲▲人(▲%) ・生産年齢人口(割合) ▲▲▲人(▲%) ・老年人口(割合) ▲▲▲人(▲%) ・世帯数 ▲▲戸 ・一世帯当たり人員 ▲人 <p>○地域のつながりの希薄化</p> <p>○地域格差・経済格差の進行・事業所数</p> <p>○学校を取り巻く問題の複雑化・困難化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校 児童数 ▲人 ・中学校 生徒数 ▲人 ・高等学校 生徒数 ▲人 <p>○公民館利用の活性化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間開館日数 ・主催講座数 ・利用者数(うち主催事業分) ・利用の実態(世代別利用割合, 特色ある事業) 	<p>○住民参画による地域ビジョンの形成・共有</p> <p>○若い世代の地域貢献活動の活性化・世代間交流</p> <p>○学びを通して社会に主体的に関わり行動する人材の育成</p> <p>○地域と学校が連携・協働して地域で子供を育てる体制の整備</p> <p>○大人も子供も学び合い, 育ち合う地域づくりの実現</p>	<p>○夏休み体験講座▲▲キッズ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子供の体験教室(活動...) ・参加者が集まらない ・学校との連携が希薄 <p>○学校の施設見学, 体験学習の受け入れ</p> <p>○公民館まつり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公民館団体利用者の成果発表 ・参加者の減少, 高齢化・固定化 ・担い手不足 	<p>○学校行事 (文化祭, 運動会, 防災訓練, 地区懇談会)</p> <p>○地域主催事業 (文化祭, スポーツ大会, 防災訓練, ○○祭り)</p> <p>○▲▲課主催 (こども▲▲博士講座)</p> <p>○図書館主催 (読み聞かせ講座)</p> <p>○市政出前講座 (「親の力」を学びあう学習プログラム講座)</p> <p>○まちづくり協議会 (青少年部会)</p>	<p>【ヒト】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○住民(キーパーソン, 協力者) ○自治協議会 ○公民館団体利用者(サークル・クラブ等) ○小・中・高等学校(児童生徒, 教職員, 保護者(PTA)) ○民生委員, 主任児童委員, 保健師, 保育士 ○老人会, 女性会, 子ども会 ○社会福祉協議会 ○農業関係団体 ○地元企業 ○NPO ○地域おこし協力隊 <p>【モノ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○環境 ○特産品, 生産物 ○公共施設(集会所, 公園) ○教育施設(公民館, 学校, 図書館) ○高齢者施設 ○幼稚園・保育所 ○文化財, 史跡 ○商業施設, 工業施設 ○地元商店 <p>【コト】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○環境保全, 防災・防犯, 地域安全活動 ○郷土料理 ○伝統行事(祭り)○伝統芸能 ○観光 <p>【カネ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○まちづくり支援事業補助金 ○自治協議会予算 ○▲▲助成事業 	<p>○学校や地域活動に関わる既存の多様な関係団体のネットワーク形成</p> <p>○体験講座▲▲キッズの充実(地域資源の活用, 地域課題発見・解決学習)</p> <p>○学校・公民館合同学習フェスタ(公民館まつりと合同実施)</p> <p>○「サテライト講座」の実施</p> <p>○学校の授業へ住民が参加</p> <p>○公民館の講座へ学校の授業の一環で子供たちが参加</p>
		<p>【参考にした取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○山陽小野田市教育委員会・中央公民館の実践事例(公民館を拠点とした地域学校協働活動) ○ひがしのキッズ(竹原市立東野公民館) ○さかわアドベンチャーパーク(チームさかわ) 			

◆テーマに関連して、地域の現状・実態等を把握し、できるだけ具体的に記載しましょう。(数値, データ, 具体名称(事業名, 組織名, 名前等))



①地域の現状・課題の把握

地域の現状や実態をできるだけ具体的にたくさん収集し、地域課題を抽出しましょう。

- **いろいろな視点から「地域課題」を捉えてみましょう。**
「課題」として捉えていたものが、**視点を変えればポジティブな「資源」に捉え直せる**かもしれません。
- **潜在化しているものを「見える化」（顕在化）させて把握**することも大切です。
- **見えてきた地域の現状や課題が将来的にどのようなようになって**いるのが理想的か想定しながら洗い出してみましょう。

②既存の事業（現在・過去）の成果と課題の整理

これまでに取り組んできた公民館等での
既存の事業を整理してみましよう。

- 過去に類似した取組がなかったか調べてみましょう。
その取組が継続していない（している）理由は？
- 他部局の行政・学校・企業・NPO・団体等の事業についても調べてみましょう。連携・協働することで新しい価値や
広がりを生み出せそうな関係性が見つかりませんか。
- 様々な「先行事例」を積極的に集めましよう。

(参考) 検索「ぱれっとひろしま」→「公民館取組事例集」

2 地域を知ろう（分析シートの作成）

③地域の資源（ヒト・モノ・コト・カネ）の洗い出し

- 地域の人材や資源をできるだけ具体的に洗い出しましょう。
- 地域資源を活用すること自体が地域づくりにつながります。活用すればするほど価値が高まる資源もあります。

ヒト	コト
<input type="checkbox"/> 住民（キーパーソン、協力者） <input type="checkbox"/> 自治協議会 <input type="checkbox"/> 公民館等団体利用者（サークル・クラブ等） 小・中・高等学校 <input type="checkbox"/> 民生委員，主任児童委員，保健師，保育士 <input type="checkbox"/> 老人会，女性会，子ども会 <input type="checkbox"/> 社会福祉協議会 <input type="checkbox"/> 農業協同組合 <input type="checkbox"/> 地元企業 <input type="checkbox"/> N P O <input type="checkbox"/> 地域おこし協力隊 <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 特産品，生産物 <input type="checkbox"/> 公共交通 <input type="checkbox"/> 公共施設（集会所，公園，駅） <input type="checkbox"/> 教育・文化施設（学校，大学，図書館，博物館） <input type="checkbox"/> 地元企業・商業施設・商店 <input type="checkbox"/> 福祉・医療施設 <input type="checkbox"/> 幼稚園・保育所・認定こども園 <input type="checkbox"/> 文化財・史跡 <input type="checkbox"/> 工業施設 <input type="checkbox"/> その他
モノ	カネ
<input type="checkbox"/> 歴史 <input type="checkbox"/> 文化 <input type="checkbox"/> 郷土料理 <input type="checkbox"/> 伝統行事（祭り） <input type="checkbox"/> 伝統芸能 <input type="checkbox"/> 産業 <input type="checkbox"/> 観光 <input type="checkbox"/> 自然・環境 <input type="checkbox"/> 防災・防犯・地域安全活動 <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> まちづくり支援事業補助金 <input type="checkbox"/> 自治協議会予算 <input type="checkbox"/> その他助成事業等 <input type="checkbox"/> その他

3 企画立案しよう (企画シートの作成)

分析シート

【分析シート】

【目的】

【名称】

担当事業名 **〇〇地域の人口による地域学校協働活動の推進**

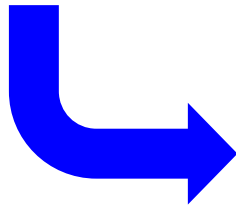
地域 (市・町 地区) の概要や関係機関・事業の現状と課題分析 **【記入例】**

地域の現状・課題 (今の地域)	地域課題解決の方向性 (どんな地域にしたい)	既存(過去・現在)の施策・事業 (福祉、保健、教育)	関係機関・事業 (福祉、保健、教育)	地域の資源 (人、モノ、カネ、ココロ)	連携・事業の活性化や新たな取組の方向性 (何をする)
<ul style="list-style-type: none"> 人口減少・高齢化の進行 子育て世代の減少 高齢者の孤立化 地域コミュニティの弱体化 地域経済の停滞 地域資源の活用不足 地域課題の解決策の検討 地域課題の解決策の検討 地域課題の解決策の検討 	<ul style="list-style-type: none"> 人口減少・高齢化の進行 子育て世代の減少 高齢者の孤立化 地域コミュニティの弱体化 地域経済の停滞 地域資源の活用不足 地域課題の解決策の検討 地域課題の解決策の検討 地域課題の解決策の検討 	<ul style="list-style-type: none"> 子育て支援事業 高齢者福祉事業 地域づくり事業 地域づくり事業 地域づくり事業 地域づくり事業 地域づくり事業 地域づくり事業 地域づくり事業 	<ul style="list-style-type: none"> 子育て支援事業 高齢者福祉事業 地域づくり事業 地域づくり事業 地域づくり事業 地域づくり事業 地域づくり事業 地域づくり事業 地域づくり事業 	<ul style="list-style-type: none"> 子育て支援事業 高齢者福祉事業 地域づくり事業 地域づくり事業 地域づくり事業 地域づくり事業 地域づくり事業 地域づくり事業 地域づくり事業 	<ul style="list-style-type: none"> 子育て支援事業 高齢者福祉事業 地域づくり事業 地域づくり事業 地域づくり事業 地域づくり事業 地域づくり事業 地域づくり事業 地域づくり事業

※このシートに記入して、地域の現状・課題を把握し、できるだけの具体的な取組をしよう。 (整理、整理、整理、整理、整理、整理、整理、整理、整理、整理)

分析シートをもとに、企画シートを作成

企画シート



①地域の未来像を共有するための学びの場づくり

地域づくりビジョン発! 〇〇活性化プロジェクト

地域の現状・課題 (今の地域)

- 〇地域自治組織の在り方や見直しの必要性
- 人口減少により、組織の活動性が困難
- 〇全住民が共有した「地域づくりビジョン」策定の必要性
- 既存のビジョンの認知度が低く、地域づくりに向けた方向性が定まっていない
- ビジョンを踏まえた活動・事業が実施
- 〇地域行事へ参加する若者が地域づくりの関心・意気へつなげる必要性

目的 (課題解決の方向性・こんな地域にしたい)

- 〇住民参画による「地域づくりビジョン」の形成・共有
- 〇若者男女を問わず、多世代が住みたいと思える地域づくり
- (1・Uターン者、障がいのある方、移住者、外国人へもやさしい地域)
- 〇若い世代の積極的な地域参画・活気のある地域づくり事業の展開

取組の概要

実行計画

- 必要かつ実現可能な「地域づくりビジョン」の策定と共有!
- 若い世代を巻き込んで、多世代が地域の過去・現在・未来を語り合い!
- 「地域づくりビジョン」の実現に向けた既存事業のリデザインと新事業の立案・実施!

準備期間

- 新ビジョン策定に向けた意見交換と研修会
 - ①「過去・現在・未来の地域の現状を知り、予想し、どう動くべきか」をまず自分達で再考
 - ② これからの地域づくりやビジョンの必要性を他地域の事例を参考にしながら学習
- 新ビジョン策定に向けた検討会議
 - ①地域づくりビジョン策定に向けたプロジェクトチームの発足
 - ②地域のために「残したい・改善したい・創りたい」等をテーマにワークショップを開催
 - ③地域の現状や住民の声、ワークショップで出された意見を参考に新ビジョンを策定
- 新ビジョンに基づいた地域づくりを実現するための事業・組織の検討会議
 - ①既存事業のリデザイン案、新規事業の企画書の検討
 - ②新ビジョンに基づいた地域づくりのために組織体制の見直し検討
- 新ビジョンに基づいた事業の試行・実施及び意見の聴取
 - ①新ビジョンに沿った事業の試行・実施
 - ②関係機関、団体等への意見聴取
 - ③新ビジョン・事業等を評価するプロジェクト会議の定期開催

発展・継続・関連

- ・地域づくりビジョンに沿った事業の見直しと展開・関係機関、団体との連携

成果指標 (目的の達成度、波及効果)

【定量評価】

- ・プロジェクトへ参加した住民数
- ・新地域づくりビジョンの策定
- ・組織体制の見直し

【定性評価】

- ・若い世代の地域づくりへの参画
- ・地域の活性化
- ・地域づくりへの住民意識の向上と組織強化

実施体制 (連携・協力団体等)

- ・〇〇地区振興協議会
- ・青年会
- ・子ども会
- ・PTA

運営財源・活動資金

- ・地域づくりビジョン策定に係る補助金
- ・〇〇地区振興協議会予算

【参考情報】

- ・小国丸も志願! 地域づくりビジョン発! 小国地区活性化プロジェクト (小国自治振興センター・小国地区振興協議会) (R01・02「ひろプロ」モデル事業)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目						準備期						
2年目												
3年目												

地域の現状・課題 (今の地域)

(分析シートから転記)

目的 (課題解決の方向性・こんな地域にしたい)

① 「目的」を立てる

取組の概要

ポイント
①
②
③

② 取組内容を描く

発展・継続・関連

成果指標 (目的の達成度, 波及効果)

③ 成果指標
を立てる

実施体制 (連携・協力団体等)

④ 実施体制
を組む

運営財源・活動資金

⑤ 運営財源・活動
資金を計画する

4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月

- **地域の現状・課題（今の地域）に対して、どのような地域にしていきたいのかをイメージしながら、「目的」を設定しましょう。**
- **「持続可能な開発目標」（SDGs）の視点と関連付けて考えてみましょう。**

- **何年後にどのような状態になっているかを想定して具体的に書いてみましょう。**
- **地域ビジョン**等で具体的に示されているものがあればそこから転記する方法もあります。
- **住民自らが地域の課題や未来像を描く**ことから始めるアプローチも有効です。
- **地域の課題解決がグローバルな課題解決につながっていく**ことを意識しながら考えましょう。

持続可能な開発目標 (SDGs)

ハンドブック
p.25

平成27年(2015)9月の国連サミットで採択されたもので、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。**17のゴール**

・**169のターゲット**から構成され、地球上の「誰一人取り残さない」ことを誓っています。

広島県においても、平成30年6月に「SDGs未来都市」に認定、8月に「SDGs未来都市設計計画」を策定して、SDGsの達成を通じた平和構築の実現に積極的に取り組んでいます。

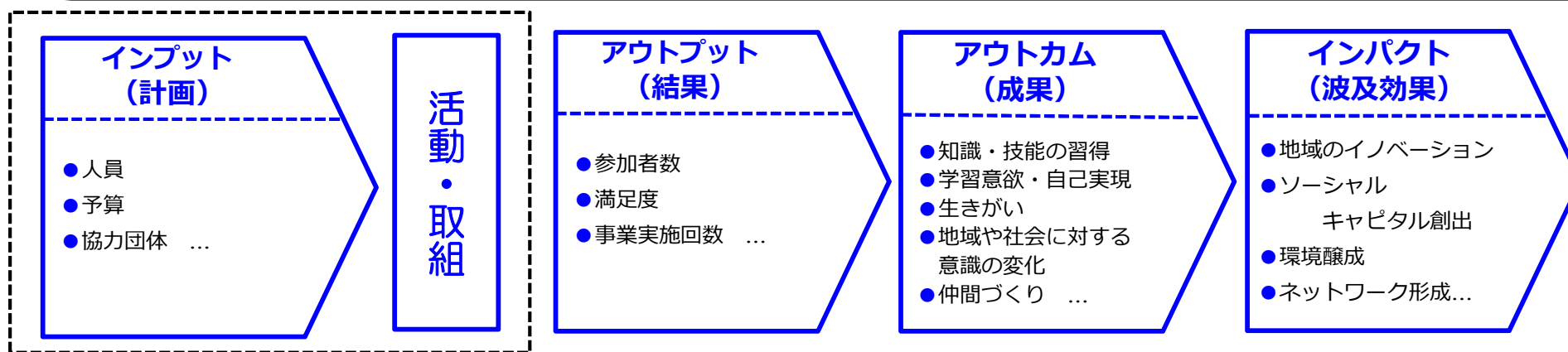


どのようなアプローチで目的の達成に向かっていくのか、発想を広げて自由に描いてみましょう。

- **アイデア**をたくさん生み出しましょう（まずは質より量！）。
- 既存事業の改善（**リデザイン**）から始める方法もあります。
- **目的**（何のために）と**手段**（何をする）が入れ変わっていませんか？
「何をするか」より「何のためにするのか」が重要です。
- **広報活動**を計画しましょう。
広報はイベント告知（集客）のためだけのものではありません。
活動への理解が広がれば仲間が増えるかもしれません。
- **中長期的な展望**をもってスケジュールを立てましょう。
時系列に並べて、PDCAサイクルを「見える化」しましょう。
- 「**ポイント**」を**シンプル**に表現しましょう。
取組の意図を住民や関係者に分かりやすく伝えることができます。
- **ネーミング**（プロジェクト名）を工夫しましょう。
「私たちのまちの私たちのプロジェクト」をアピールしましょう。

「目的」を達成することができたか評価するための「成果指標」を立てましょう。

- 「バックキャスト思考」（未来のありたい姿を起点に現在を振り返って今何をすべきかを考える思考法）を取り入れましょう。
- 評価計画は企画段階からしておきましょう。指標は「アウトプット」「アウトカム」「インパクト」の3つに分けて考えられます。
- 目標値に到達することも大切ですが、最も大切なのは、具体的にどのような変化を住民や地域にもたらしたか把握し次につなげることです。
- 客観的な数値での評価（定量評価）を基本に、関係性、意味、文脈などを文章で表現しやすい「定性評価」も考えましょう。



プロジェクトのステークホルダー（関係者・関係機関）を洗い出し、互いの強みを生かし合える効果的な仕組み・体制（チーム）を描いてみましょう。

- 公民館の利用者や地域内の既存の関係団体のほか、**地域内外の多様な主体**が関われる実施体制を考えましょう。
- **自分たちに「できること」と「できないこと」を明確にし**、いろいろな人や機関・団体の協力をあおぎましょう。その後の主体的な活動へつながるきっかけになります。
- 多様な主体がメンバーとして関われるよう、「**実行委員会形式**」をとる方法もあります。

プロジェクトを進めていく上で必要な「運営財源・活動資金」を考えましょう。

- 主催業予算等の自主財源のほかに、**助成金・補助金**等の活用も検討しましょう。

助成金や補助金は、比較的まとまった資金が調達できる一方で、あくまでも一時的な資金源であり、様々な制限や制約が生まれます。それぞれの制度の特徴を知ったうえで効果的に活用しましょう。

- **「金の切れ目が事業の切れ目」にならないよう、現実的かつ持続的な資金計画を立案**しましょう。
- 目的を共有できる**「ステークホルダー」**の中に、**予算（資金）や人員、広報手段などの資源を持つ組織**がありませんか。
- **「クラウドファンディング」**の活用を視野に入れてみる可能性もあります。

(参考) **検索** 「ぱれっとひろしま」 → 「公民館等お役立ち情報」 → 「助成金情報」

開発モデルの試案

「ひろプロ」で取組を期待するテーマ

- ① 地域の未来像を共有するための学びの場づくり
- ② 地域の人材による家庭教育支援
- ③ 地域の人材による地域学校協働活動の推進
- ④ 地域の人材による社会的包摂の実現
- ⑤ 地域防災・減災の仕組みづくり
- ⑥ その他
地域資源を活用した地域課題解決・地域の人材育成

みんなで作る・未来の〇〇プロジェクト（まるごと〇〇大学）

地域の現状・課題（今の地域）

- ・過疎や高齢化が進み、若年世代が減少（高齢化率：〇〇%）
- ・若年世代の地域参画機会の減少
- ・地域住民（多世代）同士の交流の場の不足
- ・公民館等の貸館状態化，利用者の固定化

目的（課題解決の方向性・こんな地域にしたい）

- ・住民参画による地域ビジョンの形成・共有
- ・若い世代の地域貢献活動の活性化・世代間交流
- ・学びを通して社会に主体的に関わり行動する人材の育成

▶ 公民館が“学び”から新しい未来を生み出す地域の拠点に！



取組の概要

- ポイント**
- ① 住民一人一人の思い，アイデア，学びの成果を地域づくりに生かす！
 - ② 地域の人，組織，事業，自然環境，文化，歴史，生活…すべてをまるごと学習資源に！
 - ③ 若い力で地域を変える！（学ぶ力と郷土愛の育成）

準備期 ■ 地域への思いや未来像を共有するためのワークショップ（まるごと〇〇大学）

- ① 地域の思いを知る（プロジェクトチーム立ちあげ，住民リサーチ（インタビュー，アンケート））
- ② 地域の変化を読む（地域の昔と今を知り，現状を把握）
- ③ 地域の魅力を集める（中高生による地域の魅力発見フィールドワーク）
- ④ 地域の未来を語りあう（中高生と多世代の住民の対話で生み出す地域の未来像）
- ⑤ できるところから始める（未来像を実現する事業を立案し，活動を開始！）

試行期 ■ プロジェクトチームによる企画会議（事業計画立案，試行実施）

【事業（まるごと〇〇大学）のアイデアの一例】

- ・中高校生レストラン（〇〇カフェ）
（特産品を使ったメニュー開発，中学生・高校生によるレストラン運営）
- ・〇〇アドベンチャー・パーク
（豊かな自然環境を生かした子供の体験学習の場づくり）
- ・〇〇チャレンジクラブ
（誰かのやってみたいこと・挑戦をみんなで応援）
- ・〇〇農業大学（若い世代の力でクリエイティブな未来の農業を創造）

実施期 ■ 事業開始（まるごと〇〇大学）
■ 公民館まつりへの出展・協力（成果発表）

- ・まるごと〇〇大学体験ミニコーナー
- ・プロジェクトの紹介展示ブース
- ・中高生による成果発表

成果指標（目的の達成度，波及効果）

- 【定量評価】
- ・プロジェクトへ参加した住民数
 - ・公民館等の利用者数
 - ★この地域で暮らし続けたいと思う住民数
- 【定性評価】
- ・地域内ネットワークの構築
 - ・地域力（ソーシャル・キャピタル）の醸成

実施体制（連携・協力団体等）

- ・〇〇公民館（プロジェクト主管）
- ・〇〇地区自治協議会 ・地域おこし協力隊
- ・〇〇市役所（役場）〇〇課
- ・〇〇市教育委員会〇〇課
- ・保育所，小学校，中学校，高等学校，PTA
- ・老人会 ・女性会 ・子ども会

運営財源・活動資金

- ・△△市（町）まちづくり支援事業補助金
- ・〇〇地区自治協議会（農業部会）予算
- ・公民館主催事業予算（ほか）

発展・継続・関連

・プロジェクトチームの自立化支援（発展・充実） ・学校や企業，団体等との連携の広がり継続



【参考情報】

- このまちにくだらしたいプロジェクト（広島市古田公民館）
- 若者参画による過疎地域活性化事業（神石公民館）
- 開成っ子はぐくみ会（佐賀県佐賀市開成公民館）
- チームさかわ（高知県佐川町）



地域・学校 共育ちプロジェクト ～子供は地域の宝じゃけん～

ともぞだ

地域の現状・課題（今の地域）

- ・少子化・核家族化の進展，共働き世代の増加
- ・地域のつながりの希薄化
- ・地域格差・経済格差の進行
- ・学校を取り巻く問題の複雑化・困難化

目的（課題解決の方向性・こんな地域にしたい）

- ・地域ぐるみで子供たちの健全育成を図る
- ・子供たちの豊かな社会体験活動の推進
- ・学校・家庭・地域の連携強化による地域社会の教育力の向上

▶ 公民館がコーディネート機能を発揮し、地域と学校のパートナーシップを実現



取組の概要

ポイント

- ① 地域が学校を元気にし，元気な学校が地域を活性化する好循環の仕組みづくり！
- ② 公民館がコーディネートし，地域の資源（ヒト・モノ・環境…）を最大限に生かす！
- ③ 子供と大人の学びの好循環により，地域全体の学びが活性化！

準備期

「学校を核とした地域づくり」ネットワーク会議の組織化，研修会(ワークショップ)の開催

- ・学校や地域活動に関わる既存の多様な関係団体のネットワーク形成
- ・地域学校協働活動の理解と趣旨の共有

企画会議

- ・地域の多様な経験や技能を持つ人財や公民館利用団体等とコラボした事業を企画

試行期

〇〇キッズ（夏・冬・春休み講座）

- 学校の文化祭への公民館出前講座，出展，芸能発表
- 公民館まつりで，子供たちが学校（教科等）で学んだことを発表

実施期

「サテライト講座」の実施（学校⇔公民館）

- ・学校の授業へ住民が参加，公民館の講座へ学校の授業の一環で子供たちが参加
- 〇〇キッズ（隔月第3土曜日開催）
- 学校・公民館合同学習フェスタ（公民館まつりと合同実施）

※学校の教科（「生活科」や「総合的な学習の時間」など）の中に組み込めるよう学校と緊密な連携を図る。

公民館だより・ブログ・SNSで情報発信

成果指標（目的の達成度，波及効果）

【定量評価】

- ・学校に地域の人に関わった数
- ・子供の地域の活動体験の数
- ★この地域で暮らしたいと思う住民の数

【定性評価】

- ・「〇〇キッズ応援団」チームとしての構築
- ・地域力（ソーシャル・キャピタル）の醸成

実施体制（連携・協力団体等）

- ・〇〇公民館（プロジェクト主管）
- ・〇〇地区自治協議会
- ・公民館団体利用者（サークル・クラブ等）
- ・小学校，中学校，PTA
- ・地域学校協働活動推進員
- ・老人会 ・女性会 ・子ども会

運営財源・活動資金

- ・△△市まちづくり支援事業補助金
- ・〇〇地区自治協議会予算
- ・公民館主催事業予算（ほか）

発展・継続・関連

〇〇キッズ応援団の発足と活動の充実

- ・チーム化
- ・連携授業（講座）の実施
- ・人材確保と人材養成
- ・オリジナルソング等の創作

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目				試行期			NW会議立ち上げ キックオフ会議 ワークショップ		企画会議	準備期		研修会 ワーク
2年目				実施期			〇〇キッズ①	文化祭	公民館まつり		〇〇キッズ②	
3年目		〇〇キッズ③										
		NW会議・企画会議（随時）										

【参考情報】

- 山陽小野田市教育委員会・中央公民館の実践事例（公民館を拠点とした地域学校協働活動）
- ひがしのキッズ（竹原市立東野公民館）

地域の輪 ○○っ子応援隊プロジェクト

地域の現状・課題（今の地域）

- 新興住宅地域で新しい団地が急速に増加
- 子育て世代の新しい家庭が多く、学校の児童・生徒数も増加
- 子育て世代や多世代間の交流が希薄
- 学校と地域をつなぐ具体的な仕組みがない

目的（課題解決の方向性・こんな地域にしたい）

- 次世代の地域を担う人づくり
- 学びを通じた地域づくり・つながりづくり
- 学校と地域の教育活動をつなぐ仕組みづくり
- ▶「地域の輪」で未来を担う子供たちの育ちを応援する仕組みづくり！

取組の概要

- ポイント**
- ① 今あるもの・こと（ヒトやつながり）を大切に、地域を活性化！
 - ② 人と人、人と学びをつなげ、学びのネットワークを広げる「公民館」！
 - ③ 大人も子供も、地域も学校も、ともに学びあい・元気になれる「地域の輪」！

○**応援隊チーム作り** ※情報発信・広報活動（HP, SNS, クチコミ, 情報誌等を積極的に活用）
 ・既存事業の参加者・関係者（こども体験講座参加の保護者等）や関係団体に呼びかけチームを結成
 →出入り自由な緩やかなチームづくり →活動に応じて地域の輪（ネットワークを）少しずつ広げる

○**チーム企画会議・事業実施**
 ●**こども体験講座の企画・実施**

→茶話会形式で楽しく会議を運営。開始時のファシリテーター（進行役）は公民館職員が担当
 →メンバーの「こんなことがしてみたい」という思いを引き出し、実現に向けて支援
 ・チーム主体による事業実施（地元企業見学・体験会・こどもマイスター養成講座等…）
 ・こどもマイスターを講師として「こどもによるこどものためのワークショップ」を公民館まつりで実施

●**学校との連携・協働事業の検討・実施**
 →勉強会（研修）と並行してできるところからスタート
 例）地域課題発見・解決学習・郷土学習の応援 例）家庭教育支援活動
 例）学校に対する様々な力活動（読み聞かせ、地域講師、学習支援）



※子供たちの地域貢献活動、起業家精神育成、プログラミング、グローバル教育、キャリア学習など、学校だけでは対応しにくい多様な学習活動を地域力で支援

成果指標（目的の達成度、波及効果）

- ・夏休みキッズ講座参加者数（子供）
- ・夏休みキッズ講座に協力した保護者の人数
- ・協力隊チーム参加メンバーの数
- 【定性評価】
- ・地域内ネットワークの構築
- ・地域力（ソーシャルキャピタル）の醸成

実施体制（連携・協力団体等）



発展・継続・関連

- ・夏休みキッズ講座の継続
- ・チームメンバーの人数増加（つながりの輪を広げていく）
- ・地元企業との連携
- ・企画会議の継続
- ・中学生（とその保護者）の活躍の場の提供

運営財源・活動資金

- ・主催講座謝金
- ・住民自治協議会予算
- ・講座参加費

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目				夏休みキッズ講座	夏休みキッズ講座		応援隊の立ち上げ	チーム会議			準備	公民館まつり
2年目			夏休み講座実施会議	夏休みキッズ講座	夏休みキッズ講座		企画会議				準備	公民館まつり
3年目			夏休み講座実施会議	夏休みキッズ講座	夏休みキッズ講座		企画会議				準備	公民館まつり

【参考情報】
 ・地域の輪参加していいとも！ ～川上プロジェクト～
 （東広島市川上地域センター（企画・試行中））



つながりプラットフォームプロジェクト（公民館カレー食堂）

地域の現状・課題（今の地域）

- ・一人親世帯の増加等を背景とした貧困問題
- ・家庭・地域の教育力の低下
- ・地域住民（多世代）の交流の場の不足
- ・地場産業（農業等）の担い手不足

目的（課題解決の方向性・こんな地域にしたい）

- ・地域全体で全ての子どもを育む仕組みづくりと多世代交流
- ・だれもが気軽に訪れ、集い、つながりあえる居場所づくり
- ・地元の食材や地場産業（農業等）への理解・愛着と将来的な担い手育成



▶食（カレー）をテーマに地域の誰もが集える“プラットフォーム”を創造

取組の概要

ポイント

- ① 経済的に厳しい、困難を抱える家庭の子どもだけでなく地域すべての住民（子ども）を対象に！
- ② 既存の公民館講座や関係団体のメンバーがスタッフに（“動員”でなく“楽しんで活動”）！
- ③ お年寄りから子どもまで、親しみやすく、誰もが大好きな「カレー」をテーマに事業展開！

準備期

- プロジェクトチームの組織化、事業企画ワークショップ開催
 - ・関係団体・サークル等への説明と協力依頼
 - ・協力者によるプロジェクトチームの組織化
 - ・地域の実態や課題を把握・共有し、プロジェクトの展望を描くワークショップを開催

試行期

- プロジェクト会議
- 事業説明会（広報、周知説明）
- 「公民館カレー食堂」試行（年間5回）
 - ・公民館講座や関係団体のメンバーがスタッフに！

実施期

- 「公民館カレー食堂」定例開催（毎月第1土曜日）
- 公民館まつりへの出展・協力（成果発表）
 - ・各団体のカレー試食ブース
 - ・“こどもカレー食堂”開店！（中高生による主体的な運営）
 - ・プロジェクトの紹介展示ブース

※輪番制でオリジナルカレーを創作
 ※地元の食材（規格外食材等）を農業法人やフードバンク等から提供協力

公民館だより・ブログ・SNSで情報発信

成果指標（目的の達成度、波及効果）

- 【定量評価】
 - ・プロジェクトに参加した住民数
 - ・協力団体（ボランティア）数や提供食材数
 - ★この地域で暮らし続けたいと思う住民数
- 【定性評価】
 - ・地域内ネットワークの構築
 - ・地域力（ソーシャル・キャピタル）の醸成

実施体制（連携・協力団体等）

- ・〇〇公民館（プロジェクト主管）
- ・〇〇地区自治協議会
- ・〇〇地区社会福祉協議会
- ・〇〇地区農業団体
- ・保育所、小学校、中学校、PTA
- ・老人会 ・女性会 ・子ども会

運営財源・活動資金

- ・△△市（町）まちづくり支援事業補助金
- ・〇〇地区自治協議会（農業部会）予算
- ・「子ども食堂」関係の補助事業等活用
- ・ひろしまこども夢財団こども食堂支援事業補助金
- ・農業法人やフードバンクからの食材提供

発展・継続・関連

- ・“出張”公民館食堂の実施（他施設・他地域への出前事業）
- ・つながりにくい家庭へのアクセスの検討
- ・こどもカレー食堂の定例実施
- ・学校や企業、団体等の連携の広がり継続
- ・カレー以外のメニュー開発

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目							● 事業企画WS ● 協力団体等への説明			● 準備期 ● PTキックオフ会議①		
2年目	● 事業説明会		● 公民館食堂①		● 公民館食堂②		● 公民館食堂③			● 公民館食堂④		● 公民館食堂⑤
3年目	● PT会議①		● PT会議②	● 実施期					● PT会議③			

- 【参考情報】
- 浅原食堂（廿日市市浅原市民センター）
 - 循誘公民館カレーの日（佐賀県佐賀市）の取組
 - 各地の「子供食堂」の取組



チャレンジ防災！プロジェクト in ○○

地域の現状・課題（今の地域）

- ・地域住民の防災意識が低い
- ・災害発生直後の避難所(公民館)運営の仕組みがない
- ・高齢者、障害者、乳幼児(子育て)世帯等の孤立・支援

目的（課題解決の方向性・こんな地域にしたい）

- ・住民の防災意識の向上
 - ・地域防災力による避難所(公民館)の開設
 - ・災害時における地域での助け合いネットワークの形成(関係づくり)
- ▶ **地域の安全・安心拠点としての公民館づくり**

4 質の高い教育をみんなに

11 住み続けられるまちづくりを

17 パートナシップで目標を達成しよう

取組の概要

ポイント

- ① 「防災」という住民誰もが自分事となる共通課題への取組みを通じて、地域力を醸成。
- ② 既存の「地域資源」や「事業」を生かして、できるところから無理なくスタート。
- ③ 公民館が核となり、学校・家庭・地域の連携を通じて防災教育を幅広く推進。

準備期

- 防災教育ネットワーク会議の組織化、防災ワークショップの開催
- ・地域内の防災・福祉・教育に関わる既存の多様な関係団体のネットワーク形成
- ・地域課題を共有し、地域の関係団体で一体的に防災教育を推進

試行期

- 避難訓練・防火訓練 ■ 救命救急講習
- チャレンジ防災○○ウォークラリー
- 災害時避難所開設訓練（HUG避難所運営ゲーム）
- 「広島県『みんなで減災』一斉地震防災訓練」参加（毎年11月）

実施期

- チャレンジこども○○防災キャンプ
- チャレンジ防災フェスタ（公民館まつりと合同実施）
- ・防災プロジェクトの紹介 ・ハザードマップ等の掲示
- ・防災工作教室、防災紙芝居、防災カルタ ・消防車展示(消防車と記念撮影)

公民館だより・ブログ・SNSで情報発信

成果指標（目的の達成度、波及効果）

- 【定量評価】
- ・地域防災活動等に参加した住民数
 - ・△△市防災情報メールの登録者率
- ★この地域で暮らし続けたいと思う住民数
- 【定性評価】
- ・地域内ネットワークの構築
 - ・地域力（ソーシャル・キャピタル）の醸成

実施体制（連携・協力団体等）

- ・○○公民館（プロジェクト主管）
- ・○○地区自治協議会
- ・○○地区社会福祉協議会
- ・○○地区自主防災会
- ・保育所、小学校、中学校、PTA
- ・老人会 ・女性会 ・子ども会

運営財源・活動資金

- ・△△市まちづくり支援事業補助金
- ・○○地区自治協議会（防災部会）予算
- ・公民館主催事業予算（ほか）

発展・継続・関連

- 体験型防災学習の充実 ・クロスロードゲーム ・DIG(災害図訓練) ・「防災キッズ」養成講座
- ・防災教室「ひろしまJプログラム」 ・防災運動会(○○地区運動会と合同実施)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目							ネットワーク会議立ち上げ キックオフ会議①	NW会議②	防災ワークショップ	準備期		
2年目	避難訓練、防災訓練		試行期		救命救急講習			防災ウォークラリー				
3年目	NW会議①		実施期		NW会議②				一斉地震防災訓練			
							NW会議③					

- 【参考情報】
- 地域における防災教育の実践に関する手引き（内閣府）
 - チャレンジ防災in原（廿日市市原市民センター）
 - 防災研修&炊出訓練（庄原市口和自治振興センター）

「〇〇×アート=^{むげんだい}∞」プロジェクト

地域の現状・課題（今の地域）

- ・地域住民の地元への興味関心が希薄
- ・地域住民（多世代）間交流の機会の不足
- ・若年世代の地域参画機会の減少
- ・空家の増加
- ・地域から出る若者が多い（Uターンで帰ってくる若者が少ない）

目的（課題解決の方向性・こんな地域にしたい）

- ・地域を知る～地域の魅力を発見・発信
- ・若年世代の地域参画の+世代間交流
- ・地域内外の人とのつながりの中で地域への関心と愛着を醸成

▶「アート」をテーマに「〇〇版”学びのネットワーク”を構築

取組の概要

- ポイント**
- ① 「若い世代」と「アート」の力でまちにムーブメントを起こす！
 - ② ワクワクする「学びの場」と「学びの輪」づくり！ 誰もが気軽にアートで表現！
 - ③ 行ってみたくなる「公民館」▶ 暮らしてみたくなる・暮らし続けたくなる「まちづくり」！

■「〇〇アートプロジェクト」チーム会議（随時開催）

・地域おこし協力隊や住民（有志メンバー）を中心にチームをつくり、活動の展開とともにネットワークを広げる

■「〇〇アートカフェ」-〇〇のアートを感じよう-

・「アート」をテーマに、地域資源を生かした様々な事業を展開し、地域内外に〇〇の魅力を広げる

●手仕事ワークショップ

・地域講師（地域おこし協力隊）の協力を得た手仕事ワークショップ

●〇〇インスタ映えツアー

・知る人ぞ知る地域の「映えスポット」（農園、商店、風景・観光スポット…）を巡るインスタ映えツアー
 ・近隣在住のプロのカメラマンの協力を得て、写真の撮り方の知識や技能を学ぶ
 ・撮影した「映え写真」を各自がSNSでアップし、地域の魅力を世界へ発信

●キッズ（親子）アート・ワークショップ

●〇〇まちかどギャラリー

・ワークショップで作成した作品（学習成果物）を公民館や地域の施設・商店等を「ギャラリー」にして展示

●美術（現代アート・マンガ）や音楽・映画等をテーマにしたイベントの展開

・地域にゆかりのある作品（美術・音楽・映画）をテーマに様々なイベントを展開、地域内外の若い世代のアーティストとコラボ



成果指標（目的の達成度、波及効果）

【定量評価】

- ・公民館利用者数
- ・プロジェクトに参加した人の数
- ・地域で暮らし続けたいと思う住民数住民数
- ・またこの地域を訪れてみたいと思う人の数

【定性評価】

- ・地域内ネットワークの構築
- ・地域力の醸成

実施体制（連携・協力団体等）

【主管】

- ・〇〇公民館

【連携・協力】

- ・地域おこし協力隊
- ・地域住民（移住してきた若い世代など）
- ・大学生

運営財源・活動資金

- ・公民館主催事業予算

発展・継続・関連

- ・まちの魅力が詰まったフリーペーパーの発行（公民館だよりの充実）・住民による手作りまち情報サイト立ち上げ・運営の支援
- ・地元企業、大学、学校等との連携強化
- ・空家活用（リノベーション）の検討

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	準備期		〇〇アートプロジェクトチーム会議（随時）				試行期・実施期				ワークショップ	
2年目	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	実施期		事業実施（〇〇アートカフェ）				〇〇アートプロジェクトチーム会議（随時）					
3年目	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	実施期		事業実施（〇〇アートカフェ）				〇〇アートプロジェクトチーム会議（随時）					

【参考情報】

- ・とよさか×アートプロジェクト（東広島市豊栄生涯学習センター（企画・試行中））

見えてきた成果と課題

研修の効果測定

令和元年度生涯学習振興・社会教育関係職員等研修
【広島版「学びから始まる地域づくりプロジェクト」コーディネーター研修】事前準備シート

※受講者記入欄 ※このシートは、直真の上回と話し合いの上、記入してください。

所属 ふりがな
職名 氏名

1 あなたのこれまでの生涯学習振興・社会教育関係職員としての業務経験をお答えください。(平成/いずれかの番号を空欄に記入してください。)

1 有 2 無
「1」と回答された方のみ、経歴年数(通算)をお答えください。

2 社会教育主事任用資格の有無をお答えください。(いずれかの番号を空欄に記入してください。)

1 有 2 無

3 学習プログラム開発(講座・事業の企画・評価等)に関して、これまでに受講されたことのある研修等をお答えください。
[該当の枠に「✓」を記入してください。]「その他」の場合は、具体的な研修名を記入してください。複数選択可
 生涯学習プログラム研修 県「社会教育主事等研修」 広島県学芸員「社会教育主事講習」
 「その他(※研修名を記入してください)」

4 本研修では、次のような能力向上をさせたいと考えています。これらの能力について、あなたの「状況」をお答えください。

本研修での学びたい能力	状況	理由や具体的な内容等
① 地域の課題や将来像を共有し、地域住民が当事者意識をもって協働して、地域課題解決学習に取り組むことができるよう、学びと活動が好循環する施策・事業を企画・実施する。		
② 人づくり・つながりづくりを通じて地域づくりの基盤を、他機関や多様な主体と連携・協働しながらともに構築する。		
③ 地域内外の多世代・多目的・多様な人や組織が乗り入れ、オープンでフラットなプラットフォームとして機能する場を提供する。		

5 4の「本研修の学びたい能力」以外で、あなたが研修で学びたいことについて、具体的にお答えください。

①事前アンケート

※このシートは、直真の上回と話し合いの上、記入してください。

1 地域の課題や将来像を共有する目的の学びの場づくり
2 地域の人材による生涯学習支援
3 地域の人材による地域学習支援活動の推進
4 地域の人材による社会的役割の実現
5 地域課題・課題の仕組みづくり
6 その他、地域課題を克服した地域課題解決・地域の人材育成

6 日常の業務を遂行する上で、課題に感じていること、分からないこと、疑問に感じていること、等をお答えください。

令和元年度生涯学習振興・社会教育関係職員等研修
【広島版「学びから始まる地域づくりプロジェクト」コーディネーター研修】
振り返りアンケート

名前

Q1 研修の内容の達成度をかっこの中の1～4から選び、その番号を「達成度」欄に記入し、その理由を具体的に記入してください。
○ 満足「広島版『学びから始まる地域づくり』」について内容を理解することができた
[1:おおいにできた 2:できた 3:あまりできなかった 4:できなかった]

達成度 【理由】

○ 説明「広島版『学びから始まる地域づくり』」の概要について内容を理解することができた
[1:おおいにできた 2:できた 3:あまりできなかった 4:できなかった]

達成度 【理由】

○ 演習では、メンバーの意見や考えの違いを乗り越え、課題解決に取り組むことができた
[1:おおいにできた 2:できた 3:あまりできなかった 4:できなかった]

達成度 【理由】

Q2 今回の研修で学んだことは、明日からの仕事に役立つものになりましたか、次の番号を「役立つ度」欄に記入し、また、どのようなことに役立つが具体的に記入してください。
[1:おおいに役立つ 2:役立つ 3:あまり役立つくない 4:役立つくない]

役立つ度 【このようなことに役立つ】

Q3 研修前(または事前アンケート)と比べて、あなたは、次の項目について、**新しい視点や気づきを得ることができましたか**。当てはまると思う番号を選択し、その理由や具体的な内容等についてお答えください。
[1:発見できた 2:少し発見できた 3:あまり発見できなかった 4:発見できなかった]

本研修で向上させたい能力	状況	理由や具体的な内容等
① 地域の課題や将来像を共有し、地域住民が当事者意識をもって協働して地域課題解決学習に取り組むことができるよう、学びと活動が好循環する施策・事業を企画・実施する。		
② 人づくり・つながりづくりを通じて地域づくりの基盤を、他機関や多様な主体と連携・協働しながらともに構築する。		
③ 地域内外の多世代・多目的・多様な人や組織が乗り入れ、オープンでフラットなプラットフォームとして機能する場を提供する。		

Q4 今回の研修を通しての意見や感想等があれば、記入してください。

②当日の振り返りアンケート

令和元年度生涯学習振興・社会教育関係職員等研修
広島版「学びから始まる地域づくりプロジェクト」コーディネーター研修
フォローアップアンケート

※このシートは、直真の上回と話し合いの上、記入してください。

所属 ふりがな
職名 氏名

1 研修受講前と比べて、現在、あなたは、次の項目について**意識(視点)**がどのように変化していると思いますか。当てはまると思う番号を選択し、具体例等について記入してください。

自己評価項目	状況	具体例等を記載
① 地域の課題や将来像を共有し、地域住民が当事者意識をもって協働して地域課題解決学習に取り組むことができるよう、学びと活動が好循環する施策・事業を企画・実施する。	1:変化した 2:少し変化した 3:変わらない 4:全く変わらない	
② 人づくり・つながりづくりを通じて地域づくりの基盤を、他機関や多様な主体と連携・協働しながらともに構築する。		
③ 地域内外の多世代・多目的・多様な人や組織が乗り入れ、オープンでフラットなプラットフォームとして機能する場を提供する。		

2 この研修後、上記1の項目①～③のいずれかの視点を意識して、あなたが取り組んだ(取り組んでいる)または、取り組む予定の内容等について、具体的にお答えください。当てはまるものを選び、にをしてください(複数回答可)。

チェック欄	取組内容(※今後の予定を含む)	具体例等を記載
<input type="checkbox"/>	講座・事業の企画や実施(改善)	
<input type="checkbox"/>	Fが講座・事業を企画する際の相談、助言等	
<input type="checkbox"/>	研修の企画や実施(改善)	

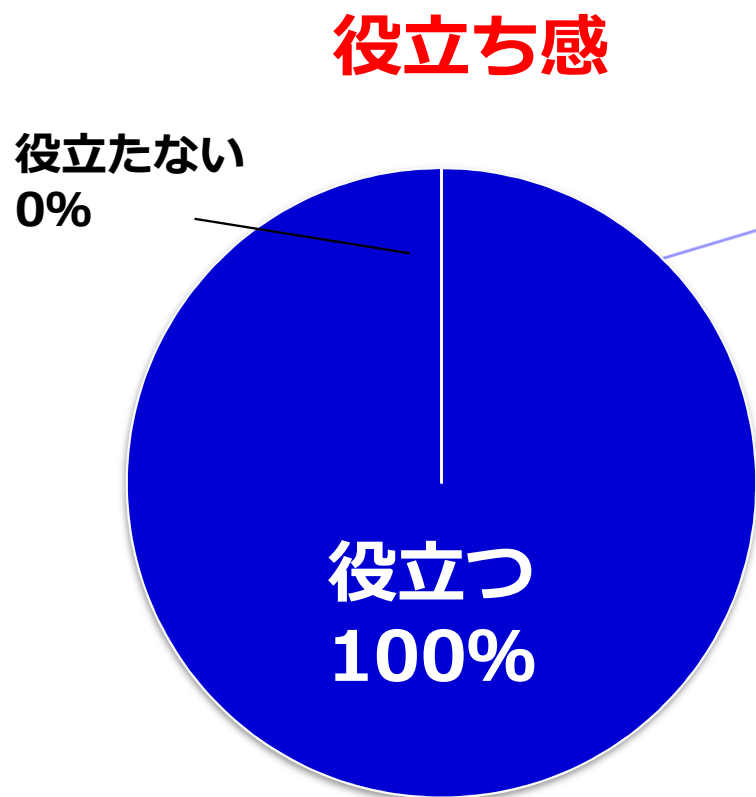
③フォローアップアンケート(4か月後)

3 この研修に関連して、成果や課題、気づき、自身の変化や工夫したことなど、意見や感想等があれば記入してください。



研修の成果① アンケート結果 1

Q. 今回の研修で学んだことは**明日からの仕事に役立つもの**になりましたか。(当日の振り返りアンケート)



R01研修事業振り返りアンケート集計結果

【自由記述抜粋】

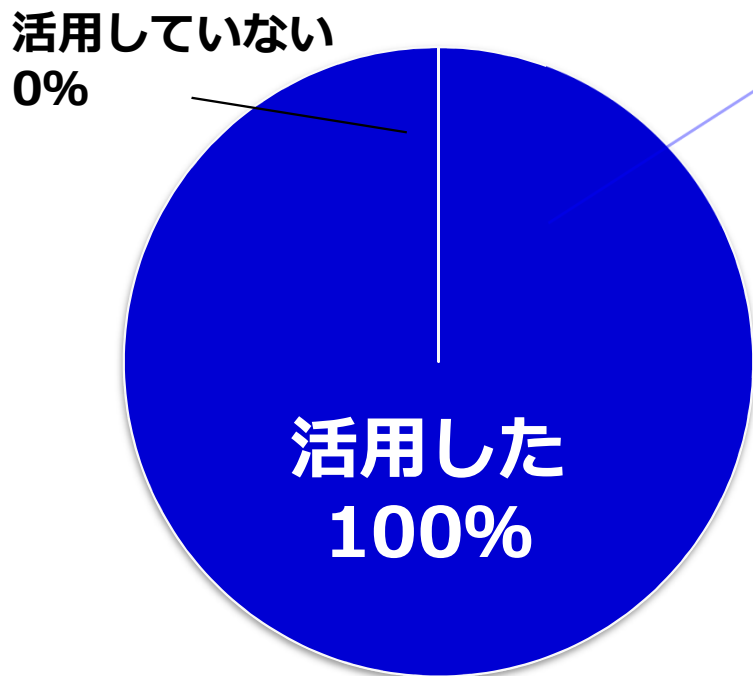
- 様々な**地域課題を共有**し、**住民が当事者意識をもって**取り組めるような学習や活動の機会を提供していくことが大切だと思いました。
- **多様性を受け入れ、オープンでフラットなプラットフォーム**として機能する公民館にしていくことの意義や重要性に気が付きました。
- 人口動態など、**地域の現状を細かく分析**することで**地域の資源や課題を再認識**できました。**書き出すことで見やすくなり**新しい発見がありました。
- 個々の学びも大切な一方で、**他者との交流や協働の場において新たな価値が生まれ**、地域の原動力となっていくという視点に気が付きました。
- これまで**中長期的な視点で事業を企画実践**したことがありませんでしたが、懸案の防災について近いうちに社協と協力して取り組んでみようと思います。
- 「地域づくり」において、「**学び**」は、**敷居が低くて誰でも入れる（入りやすい）プラットフォーム**であることを再確認しました。

▶ **研修の「役立ち感」 肯定的評価 100%**

研修の成果② アンケート結果2

Q. **研修で学んだことを業務で活用することができましたか？**
(フォローアップアンケート)

学習成果の活用度



R01研修事業フォローアップアンケート集計結果

【自由記述抜粋】

- まずは**地域の人**の思いを出し合える場作りから始めています。
- 他部局からいろいろな情報を収集し、**公民館と共有**するよう努めています。
- 講座の際に、講義方式だけでなく、**地域課題を共有**できるように、若い世代が参加し、思いやアイデアを引き出す**ワークショップ**を取り入れるようにしています。
- 地域内外の参加者が参加しやすくなる**よう意識しながら企画しています。
- 今まで漠然としていましたが、「**こんな地域にしたい**」という**明確な課題意識**を持って企画しています。
- 役所内だけでなく、**様々な機関と連携・協働**するヒントを得たので、**少しずつ行動に移**しています。
- 地域と学校の連携・協働体制構築**の具体的なイメージができました。現在、**地域づくりの基盤としての地域学校協働本部**をの**立ち上げ**に向けて**予算資料を作成中**です。

▶ **学習成果の活用 肯定的評価 100%**

事業の成果と課題

【成果】

- 研修参加者のアンケートによる肯定的評価の割合は高く、**公民館等職員のコーディネート能力の向上に一定の成果**をあげられた。
- 「ひろプロ」の趣旨の周知や理解を図るとともに、新たな**ニーズの掘り起こしや、事業関係者の発掘**ができた。
- モデル市町での実践が進むだけでなく、モデル市町以外へも研修の機会を広げることにより、全県的に**学びの成果を地域づくりにつなげる新たな事業実践や展開の広がりのきざし**が見えてきた。
- まちづくりや福祉部局等の首長部局職員やNPO関係者の事業参加があるなど、**他部局や他主体との連携**も広がりつつある。

【課題】

- 新たに制度化される「**社会教育士**」の活用を含め、多様な主体との連携・協働や、**住民の主体的・協働的な学びと学びの成果を生かした地域づくりをさらに進める方策（仕組み）**の検討。



モデル市町の実践

東広島100歳大学 (仮称) in 福富プロジェクト



地域の現状・課題 (今の地域)

- ・人口減少, 超高齢化社会の進展 (福富地区/高齢化率: 41.2%)
- ・高齢者の生きがい創出, 健康づくり (健康寿命)
- ・独居高齢者, 高齢期の孤立化防止
- ・高齢期の個人の自立と地域参画・社会貢献の仕組みづくり
- ▶ 人生100年時代を見据えた, 高齢者対象の学習機会の充実

目的 (課題解決の方向性・こんな地域にしたい)

- ・体系的に「若い」の基礎・基本を学ぶ
- ・同年代の仲間をつくり, 地域で生きる (地域の絆づくり)
- ・高齢者の主体的な学びの支援と「学びの循環」づくり (地域参画・社会貢献)
- ▶ 地域センターを拠点とした, 高齢者対象講座の展開



取組の概要

- ① 「教室」は住民に最も身近な学習・交流の活動拠点である「地域センター」(公民館)を活用
- ② 「先生」は現場の実践家・専門家, 企業・大学・行政など, 地域の多様な主体・人材を積極的登用
- ③ 「授業」は「講義」とともに現場での「体験」(実技, 演習, 対話, フィールドワーク)を豊富に
- ④ 「カリキュラム」は住民(学習者)の参画による協働型学習プログラムとして開発
- ⑤ 地域の学びのネットワークを支援するコーディネーター人材(生涯学習推進員)を育成・配置

ポイント

試行期

実施期

■プロジェクトの周知と理解・協力の促進, ネットワーク・チームの組織化

- ・地域センター, 自治協議会ほか, 関係団体(関係者)との連携, ネットワーク化に向けたコーディネート
- ・プロジェクトチーム(運営委員会)の立ち上げ, 企画調整会議(研修・ワークショップ)
- ・高齢者教育を考える講演会開催(地域住民を対象とした周知・啓発, カリキュラム開発のための先進事例研修)

■「ふくとみ幸齢カフェ」(仮称)の試行実施 (各地域センター)

- ・地域センターの既存事業(百歳体操, 終活, 料理等)と組み合わせ, 「ふくとみ幸齢カフェ」(仮称)を実施
- ・「100歳大学」の展開(学習プログラム開発, 運営ノウハウ構築等)に向けた試行実施

■「東広島100歳大学(仮称)・福富キャンパス」(仮称)の実施 (各地域センター)

- ・運営委員会で開発したカリキュラムにより「100歳大学」を開講
- ・認知症予防, 特殊詐欺予防, 福祉制度, 地域参加, 幸せづくりなど, 老いを学び・備える講座を展開(「生涯学習まちづくり出前講座」と「サテライトキャンパス事業」の積極的活用)

成果指標 (目的の達成度, 波及効果)

【定量評価】

- ・講座の実施回数 (※生涯学習推進計画評価指標)
- ・講座参加者数
- ・今後の生活に役立つ新たな知識等を得られた人の割合
- ・この地域で暮らし続けたいと実感した高齢者数

【定性評価】

- ・地域内ネットワークの構築
- ・地域力(ソーシャル・キャピタル)の醸成

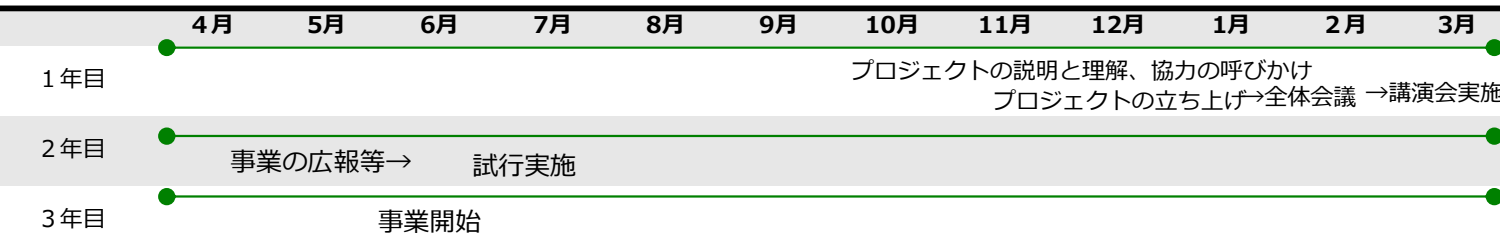
実施体制 (連携・協力団体等)

【連携】

- ・福富生涯学習支援センター(プロジェクト主管)
- ・福富町内の地域センター(竹仁・久芳・上戸野)
- ・各地区自治協議会
- ・東広島市教育委員会生涯学習課
- 【協力】
- ・地域おこし協力隊, 東広島市役所福富支所
- ・社会福祉協議会・福富図書館

発展・継続・関連

- ・受講修了者の主体的なプロジェクトの運営に向けた支援・事業(カリキュラム・運営)の改善・充実
- ・講師(地域人材)の育成と確保・協力団体等の連携の広がり継続・地域参画・社会貢献活動への支援



運営財源・活動資金

- ・生涯学習支援センター及び地域センター主催講座の講師謝金

モデル市町（東広島市）の実践の様子



【東広島市】 モデル期間：2年間（令和元・2年度）

▶ 東広島市社会教育関係職員「スキルアップ研修」 （広島版「学びから始まる地域づくりプロジェクト」コーディネーター研修）



企画検討，意見交流



市の施策の方向性を学ぶ



研修成果（企画）発表会

▶ 学びからはじまる地域づくり講演会・懇談会



人生百年時代をどう生き抜くか
新居浜市生涯学習大学 関福生学長



地域別に分かれて住民と
課題やアイデアを出しあう

ワークショップ
学びからはじまる地域づくり～福富町の今と未来を考えよう～



モデル市町（世羅町）の実践の様子



【世羅町】 モデル期間：2年間（令和元・2年度）

おぐに丸大学（まちづくりワークショップ）



「おぐにを 元気な地域にしたいんだ！」

愛称 **おぐに丸大学** みんなで学ぼう！創ろう！小国の未来！

令和2年度オープンキャンパス 1回目のご案内

おぐに丸大学 学生（参加者）**募集中!**

おっほん！みなさんこんにちは！ぼくは、**名誉学長のおぐに丸**です。みなさん、ぼくと一緒に**小国地区の今**を見つめて、**小国地区の未来**を考えてみませんか。みなさんの力や意見、アイデアを集めて、「**地域づくりビジョン**」を作りましょう。

令和2年**11月28日（土）**
14:00～17:00
小国自治センター大研修室
これからの小国地区の地域づくりに関心のある方のご参加をお待ちしております！

申込先：おぐに丸大学事務局（小国自治センター内）
☎37-1005
要予約 先着申込20名迄

講師
～健康・環境・文化の総合コーディネート～
人間科学研究所
所長 **志賀 誠治** 先生

参加費無料
主催：小国地区振興協議会
プロジェクト名称
「おぐに丸も応援
地域づくりビジョン発！
小国地区活性化プロジェクト」
支援：広島県生涯学習センター

世羅町小国自治センター
講師：コーディネーター

人間科学研究所 所長 志賀 誠治

おわりに

「学んだこと」や「学んだ人」が好循環する仕組みづくり

～連携・協働のプラットフォーム～

県内の生涯学習振興・社会教育行政における
人材育成機能の充実



第一次案内

ZOOM

オンライン + リアル
ハイブリッド開催

令和2年度 広島県 生涯学習研究 実践交流会

ポストコロナ時代の 学び・つながり

生涯学習・社会教育の要となるのは「学び」の場を通じた「つながり」の創出です。コロナ禍において、地域の様々な事業や活動が止まり、つながることの難しさを感じる今、改めて、その価値を再確認し、学び、つながり続けていくために、そして、新しい価値や広がりを生み出していくために、私たちに何ができるかともに考えましょう。お互いの思いや実践を交流し、元気を分かち合い、明日へのヒントを育みます。

日時

令和3年

3月6日 土

12:30 — 16:40

リアル会場：広島県情報プラザ（広島市中区千田町三丁目7-47）

生涯学習・社会教育の学習支援者・関係者、
「人づくり・つながりづくり・地域づくり」に関心のある方など、
どなたでもご参加ください！！

行政関係者（生涯学習、社会教育、学校教育、スポーツ、文化、芸術、福祉、まちづくり、地域振興等）、社会教育主事、公民館・図書館・博物館・生涯学習推進員、コーディネーター等職員、学校教育関係者、NPO・大学・企業関係者、学生、学習支援者等

- オンライン（Zoom）とリアル（県情報プラザ）の併用による「ハイブリッド開催」を予定しています。
- 新型コロナウイルス感染拡大の状況等により、オンラインのみの開催となる可能性もありますので、ご了承ください。
- 希望者には、「Zoom」の事前通信テスト等を行いますので、安心してご参加いただけます。
- 参加申込等については、改めて「第二次案内」でご案内します。プログラムは裏面をご参照ください。

主催 広島県教育委員会/日本生涯教育学会（瀬戸内支部・生涯学習実践研究所広島支部）

広島県立生涯学習センター（はれっとひろしま）

〒730-0052 広島市中区千田町三丁目7-47

TEL：082-248-8848 FAX：082-248-8840

MAIL：sgcshinkou@pref.hiroshima.lg.jp

HP：https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/center/

お問い合わせ

はれっとひろしま



令和2年度広島県生涯学習研究実践交流会

ポストコロナ時代の学び・つながり

プログラム（予定）

令和3年3月6日（土）12:30～16:40

開会

12:30～12:40

トークセッション

12:40～14:05

■ コロナ時代の新しい公民館のカたち

沖縄県那覇市若狭公民館 館長 宮城 潤

■ リモート公民館@広島（リモコひろしま）

広島市安公民館 社会教育主事 為政 久雄

■ 広島県立生涯学習センター「オンライン研修」の試み

広島県立生涯学習センター 振興課長 松田 愛子

特別ゲスト



那覇市若狭公民館 館長 宮城 潤

コーディネーター

広島修道大学 教授

広島県立生涯学習センター生涯学習推進マネージャー

山川 肖美



広島修道大学 教授 山川 肖美

グループセッション

14:15～15:55（提供事例をもちに、各グループで実践や意見を交流します）

- ① 「『東広島まるひネット』 / 『学生×地域塾』
～オンラインでの学び・つながりと地域づくりの実践～」 合同会社ひとむすび
- ② 「まち・教室・ひとは先生！みんなのまちの掲示板『ためまっぷ』
～ゆるくつながる重層的な社会情報基盤の活用事例～」 ためま株式会社
- ③ 「電話で教育相談をつなげる『まほろのコール』を通して見えたもの」 広島こそだて未来会議
- ④ 「『さいぎ部』ふるさとを伝たい地元高校生によるICTを利用したつながりづくり」 廿日市市津田市民センター
- ⑤ 「『人生100年時代』を見据えた高齢者の学びの展開」 東広島市教育委員会生涯学習課
- ⑥ 「『せらのまち あちこち図書館』くらしの中に紡がれる環境づくり」 世羅町教育委員会社会教育課
- ⑦ 「うちで読もうプロジェクト 電子図書館『With Booksひろしま』・図書セット無償貸出」 広島県立図書館
- ⑧ 「人間力育成塾（おのみり100km徒歩の旅）」 NPOおのみり寺子屋
- ⑨ 「学校・家庭・地域がつながりて育むみなみっここの未来」 府中町立府中南小学校コミュニティスクール事務局
- ⑩ 「オール重井で協働のまちをつくり隊」 尾道市重井公民館・尾道市立重井中学校
- ⑪ 「おかやま子ども応援事業」 岡山県教育庁生涯学習課
- ⑫ 「『ひとが育つまち益田』セカンドステージ中間支援組織による活性化」 鳥取県益田市教育委員会社会教育課

コメンテーター

- 岡田 正彦（人分人学高等教育開発センター教授）
- 志々田 まなみ（文部科学省国立教育政策研究所総括研究官）
- 新田 憲章（広島女学院大学非常勤講師・中国新聞社NIEコーディネーター）

講演・総括

16:05～16:35（開会行事 16:35～16:40）

『ポストコロナ時代の学び・つながり』

～第10期中央教育審議会生涯学習分科会における議論の整理を踏まえて～
多様な主体の協働とICTの活用で、つながる生涯学習・社会教育 ～命を守り、誰一人として取り残さない社会の実現～

講師

教職員支援機構つくば中央研修センター長 清國 祐二

